

2011年度

科目名	現代社会と人権(総合講座)B		
担当教員	中村 英一郎		
配当	文 2・教育2・人間2	コード	53034
開期	後期	講時	金曜日3限
		単位数	2
授業テーマ	人権問題を(男女平等問題を一つの核にして)ワークショップを切り口に様々な角度から考える		
目的と概要	後期は、人権問題を『参加型』と呼ばれる手法を中心に様々な角度から考えてみる。『当たり前』と思っていた自分の感覚も学びを深めることで、さらに揺さぶられ成長する過程にしていきたい。また、そこから「人権」というものが、与えられるだけのものではなく互いに尊重しあうものとして『権利と責任』というセットでとらえ直すことも大切に捉える。 これらを通して現代の「人権」を問い直し、ただ答えを教わるのではなく仲間とじっくりと一緒に考えていく機会にしたい。		
成績評価法	後期は学期末レポート80%、講義時の「振り返りシート」20%で評価する。		
テキスト	必要に応じて講義時に資料を配付する。		
参考書	適宜、紹介する。		
履修に当たっ ての注意・助言 /準備学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎時講義の中で、感じたこと考えたことを「振り返りシート」に自分の言葉で丁寧に記載すること。</li> <li>・前時の内容の資料等を、詳しく見て振り返ることを次時への予習として授業に臨むこと。</li> </ul>		
講義計画			
1回目：人権問題の基本を身近な問題から考える 2回目：ジェンダーと学校教育 3回目：『女らしさ』や『男らしさ』から同性愛や性同一性「障害」について考えてみる 4回目：『子どもの権利条約』から「権利」を考える 5回目：私を振り返る『10人の親しい人々』 6回目：ヒーローにさせるものは？ 7回目：「結婚の条件」について自分の感覚を振り返る 8回目：『傷つける言葉』と『言われた言葉』から人権を考える 9回目：問題解決の場面『あなたならどうする？』 10回目：仕事選択1 11回目：仕事選択2 12回目：「権利と責任」について考える 13回目：その『権利』を疑ってみる：人権を考える 14回目：「競争の原理」から『協力の原理』へ：製作を通して 15回目：授業のまとめ			